

令和7年度（2025年度）千葉大学文学部 3年次編入学学生募集要項

本選抜実施に関して変更等が生じる場合は、千葉大学文学部ホームページ（<https://www.l.chiba-u.jp/>）などでお知らせをします。

文学部の求める入学者

文学部では、人間という計りきれない存在を、行動、社会、歴史、言語、文化、芸術などの諸側面について様々な視点や方法を用いて学問的に追及し探ることで、自己を知り、世界を知り、自己と世界の関係について学び、自分の生きていく方向や自分を託す世界の進み方、自己と世界との関係の作り方を模索することを目標としています。（文学部入学者受入れの方針より抜粋）

※ 「文学部入学者受入れの方針」の全文は次のURLに掲載されております。

<https://www.chiba-u.ac.jp/admissions/gakubu/adpolicy.html>

1 募集コース及び募集人員

コース名	募集人員
行動科学コース	10名
歴史学コース	
日本・ユーラシア文化コース	
国際言語文化学コース	

2 出願資格

次のいずれかに該当する者（外国の大学等は、対象となりません。）

- (1) 大学、短期大学または高等専門学校を卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者
- (2) 大学に2年以上在学し、62単位以上の単位を修得した者及び令和7年3月までに同要件を満たす見込みの者

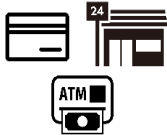
〔注〕上記見込みの者は、入学手続き時に卒業証明書と成績証明書を提出してください。

3 出願手続

(1) 出願方法

千葉大学文学部特別選抜の出願は、「インターネット出願」による手続となります。

利用案内や出願方法等の詳細は、千葉大学ホームページに掲載する出願サイト（ガイダンスサイト）を参照してください。なお、インターネット出願では、出願サイトでの出願情報の登録及び検定料の入金だけでは出願は完了しません。出願書類が所定の出願受付期間内に本学に到着してはじめて出願完了となりますので、あらかじめご注意ください。

インターネット出願の流れ					
					
募集要項を 確認 (手順 1)	出願サイトで 出願情報登録 (手順 2)	証明写真を アップロード (手順 3)	検定料のお支払い (手順 4)	志願票を印刷 (手順 5)	必要書類を 郵送
出願サイト					
千葉大学ホームページから出願サイト（ガイダンスサイト）にアクセスします。 ガイダンスサイトでは、「利用案内」や「出願方法」のほか、「よくある質問」を掲載 していますので、出願を始める前によくお読みください。 https://www.chiba-u.ac.jp/admissions/gakubu/special.html					
出願期間					
出願サイトでの出願情報登録期間		令和6年9月26日（木）から令和6年10月3日（木）17 時			
郵送による出願書類受付期間		令和6年10月1日（火）から令和6年10月3日（木）【必着】			
(注) 1 出願書類は、配達に要する日数を見込み、余裕をもって郵送してください。出願書類受付期間 内に到着しない場合は、受理できません。 2 やむを得ず持参する場合は、出願受付期間の9時から12時、13時から17時の間に、人社系学務 課学部学務室（文学部担当）へ直接持参してください。					
出願方法					
次項の(2)出願の手順〔1〕～〔4〕により行ってください。出願方法全般について不明な点があると きは、人社系学務課学部学務室（文学部担当）へ問い合わせてください。					
(注) 1 出願書類に不備があると受理できませんので、間違いのないようよく確認してください。 2 受理した出願書類は返却しません。 3 出願書類受付後は、出願事項の変更は認めません。 4 志願票等に虚偽の記載をした者は、入学後であっても入学の許可を取り消すことがあります。 5 出願後、転居等の理由により、出願サイトで登録した現住所・連絡先に変更がある場合は、直ち に人社系学務課学部学務室（文学部担当）へ連絡してください。					

(2) 出願の手順

〔1〕出願情報の登録

千葉大学ホームページから出願サイト（ガイダンスサイト）にアクセスし、必要事項を登録してくだ
さい。

出願登録の際は、以下の（注）及び出願サイトの「利用案内」や「よくある質問」等をよく読み、誤
りがないか十分確認してください。

出願サイトは、千葉大学ホームページからアクセスしてください。

（ <https://www.chiba-u.ac.jp/admissions/gakubu/special.html> ）

※操作に関するお問い合わせは、志願受付操作サポート窓口までお願いします。

【志願受付操作サポート窓口】

TEL：0120-752-257（受付 9 時～20 時）

※お問い合わせの前に「よくある質問」をご確認ください。

(注) 出願情報の登録完了前に「入力内容の確認画面」で誤りがないかよく確認してください。

入力内容に誤りがある場合には、状況に応じて、以下のとおり対応してください。

■ 出願情報の登録完了前 ▶ 入力画面に戻って誤った内容を修正してください。

■ 出願情報の登録完了後 ▶ 検定料の入金状況により、いずれかの対応をしてください。

1) 検定料入金前 ▶ 検定料は入金せず、再度はじめてから出願情報の登録を行ってください。
誤った内容の出願登録は、そのままにしておいて構いません。

2) 検定料入金後 ▶ 出願サイトでは誤った内容を修正できません。速やかに人社系学務課
学部学務室（文学部担当）へ連絡し、その指示に従ってください。
ただし、「現住所」と「連絡先」の誤りに限り、以下の「〔4〕志願票
の印刷・出願書類の郵送」の(注)2のとおり修正してください。

〔2〕証明写真のアップロード

試験当日における本人照合用の証明写真を、出願サイトにアップロードしてください。

(注) 1 証明写真データは、直近 3 ヶ月以内に撮影した、カラー写真（白黒不可）、上半身・正面・無
帽、背景なし、枠なしのものに限りです。英文字や数式、地図等がプリントされている服等を着
用しているものも不可とします。

2 写真データのサイズは 100KB 以上 5MB 以下、データ形式はファイル拡張子が「jpeg」又は
「png」のいずれかであることが必要です。

〔3〕検定料の支払い

**クレジットカード決済、コンビニエンスストア決済、銀行 ATM (Pay-easy) 又はネットバンキングで
検定料 30,000 円を支払ってください。**

上記〔1〕出願情報の登録が完了すると、登録したメールアドレス宛てに出願登録確認メールが届き、
支払い方法の詳細をお知らせしますので、よく確認の上、支払ってください。

(注) 1 検定料のほかに、手数料（インターネット出願システム使用料）700 円が必要です。なお、手
料は志願者負担となります。

2 いったん納入した検定料は原則として返還しません。ただし、検定料を誤って振込み出願しな
かった者については、検定料の全額（30,000 円）を返還します。返還手続を希望する旨を文学部
の担当係に連絡してください。

また、令和7年3月31日（月）17時までに所定の手続を行ってください。

〔4〕志願票の印刷・出願書類の郵送

以下「(3) 出願に必要な書類」①～⑥を用意し、「出願用封筒」に同封の上、出願書類受付期間に届
くように、人社系学務課学部学務室（文学部担当）に簡易書留・速達郵便で送付してください。

(注) 1 「出願用封筒」は、出願サイトから「出願用ラベル（宛名入り）」をダウンロードし、A4用紙
にカラー印刷したものを、市販の角形 2 号封筒（240mm×332mm）に貼って作成してください。

2 「志願票」及び「出願用ラベル」の印刷後、記載内容に誤りがないか確認し、誤りがある場合は、
速やかに人社系学務課学部学務室（文学部担当）に連絡してください。ただし、「現住所」及び
「連絡先」に誤りがあった場合に限り、二重線を引き（訂正印は不要）、余白部分に正しい内容
を明記の上、送付してください（志願票の※欄には何も記入しないでください）。

(3) 出願に必要な書類

出 願 書 類 等		摘 要
①	志願票	出願サイトからダウンロードし、A4用紙にカラー印刷してください。

②	成績証明書	出身校所定の用紙により出身大学（学部）長が作成したもの。 なお、出願資格(2)に該当する者で出願時に同要件（62 単位以上の単位を修得）を満たしていない者は、単位修得見込証明書（様式任意）を合わせて提出してください。
③	卒業（見込）証明書 または在学証明書	出身校所定の用紙により出身大学（学部）長が作成したもの。
④	出願理由書	本募集要項の所定用紙を文学部ホームページからダウンロードし、編入学を希望する理由、本学で勉強したいこと等を書いた出願理由書を作成してください（1,200 字程度。A4 判原稿用紙または A4 用紙ワープロ打ち（パソコンによる入力）も可。縦書き・横書きは自由）。
⑤	論文（歴史学コース及び国際言語文化コースの志願者のみ提出）	出願の際に、歴史学コースの志願者は歴史に関する任意のテーマで書かれた 12,000 字程度の論文、国際言語文化コースの志願者は、国際言語文化に関する任意のテーマで書かれた 12,000 字程度の論文（両コースとも A4 判原稿用紙、または A4 用紙ワープロ打ち（パソコンによる入力）も可。書式自由。ただし、引用文献・引用資料等は、注番号をつけて末尾に一括して注記すること。）を提出してください。
⑥	履歴書	本学部所定の用紙を文学部ホームページからダウンロードし、高校卒業以降の履歴、職歴等を明記してください。 ダウンロードページ https://www.l.chiba-u.jp/applicants/guide/guide.html

〔注〕外国人志願者については、住民票の写し（個人番号（マイナンバー）が記載されていないもの）を提出してください。住民登録していない場合は、パスポートの写しを提出してください。

(4) 出願書類の受理通知

本学で出願書類を受理した後、不備がなければ、出願サイト（申込確認画面 ▶ 申し込み一覧）にその旨を掲載しますので、確認してください。不備がある場合は、人社系学務課学部学務室（文学部担当）から問い合わせます。

(5) 受験票の印刷

受験票ダウンロード開始日以降、出願サイトで受験票をダウンロードし、必ず A4 用紙にカラー印刷してください。

受験票ダウンロード開始日	令和6年10月10日（木）10時以降（予定）
--------------	------------------------

（注）1 出願サイト「申し込み一覧」画面の「受験票」から「受験票の印刷」ボタンを押下できるようになります。

2 受験票の受験番号欄には、以下の表のとおり、学部・学科等を示すアルファベット 3 文字と 5 桁の番号が印字されます。登録内容に間違いがないか確認してください。

▶行動科学コース	LCH
▶歴史学コース	LDH
▶日本ユーラシア文化コース	LEH
▶国際言語文化コース	LFH

4 選抜方法

入学者の選抜は、出願書類、筆記試験及び口述試験（面接）の結果を総合して合格者を決定します。

(1) 選抜試験日 令和6年10月19日（土）

(2) 選抜試験科目及び試験時間割等

コース	試験科目	試験時間割	場所
行動科学コース	筆記試験（専門）	10:00 ～ 12:00	千葉大学文学部
	口述試験（面接）	13:00 ～	
歴史学コース	口述試験（面接）	13:00 ～	
日本・ユーラシア文化コース	筆記試験（専門）	10:00 ～ 12:00	
	口述試験（面接）	13:00 ～	
国際言語文化学コース	口述試験（面接）	13:00 ～	

① 試験内容

試験は志望コース別に行います。

・筆記試験（専門）：論述形式

〔基礎的学力・専門知識（必要な外国語を含む）・論理的思考を判定します。〕

・口述試験（面接）：専門的な知識を総合的に試問します。

※国際言語文化学コースでは、英語による口頭試問も行われます。また、テキストを提示して英文読解能力を試します。

② 試験場の詳細は、試験前日に文学部掲示板に掲示します。

5 合格者の発表

入学者選抜の結果、合格した者は12月13日（金）14時に千葉大学文学部ホームページ（<https://www.l.chiba-u.jp/>）に掲載（12月17日（火）17時まで）します。また、同日付けで「合格通知書」を志願票に記載した現住所あてにレターパックプラスで発送します。

電話による問合せには応じません。

6 身体等に障害のある入学志願者の事前相談

本学に出願を希望する者で、身体等に障害があり、受験上又は修学上、特別な配慮を必要とするものは、出願に先立ち、次により本学部に事前相談の申請を行ってください。

(1) 事前相談の締切日：令和6年9月6日（金）

(2) 提出書類：① 事前相談申請書（用紙は人社系学務課学部学務室（文学部担当）に請求してください）

② 障害の種類及び必要とする具体的な措置等を記載した医師の診断書

(3) 事前相談の方法：事前相談申請書に基づき、本学関係者で検討します。必要がある場合、本人、保護者または出身校関係者に照会することがありますので留意してください。

(4) 事前相談申請書用紙の請求先及び書類提出先：

千葉大学人社系学務課学部学務室（文学部担当）

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1番33号 電話 043-290-3631

7 入学手続

入学手続は Web 及び書類送付にて行います。合格者には令和 7 年 2 月上旬頃、入学手続きの詳細についてお知らせします。所定の入学手続を行わないと入学を辞退したものと見なしますので、十分注意してください。

(1) 入学手続期日

令和 7 年 3 月 15 日（土）まで

(2) 入学手続の際に納入する経費

① 入学料 282,000 円

② 学生教育研究災害傷害保険料 2,430 円（2 年分）

（学研災付帯賠償責任保険含む）

（注）1. 入学料の納入については、入学手続時に納入願います。

2. 授業料の納入については、入学年度の前期授業料は 5 月（2 年目以降は 4 月となります。）に、後期授業料は 10 月に、それぞれ口座振替により納入願います。口座振替手続等の詳細は、合格通知書に同封の関係書類により（又は入学手続の際に）改めてお知らせします。

なお、前期分・後期分授業料は、それぞれ 321,480 円（年額 642,960 円）です。

3. 入学料及び授業料の改定が行われた場合には、改定時から新入学料及び新授業料が適用されます。

4. 納入した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

5. 入学料及び授業料が免除される制度があります。詳細は、千葉大学ホームページ（<https://www.chiba-u.jp/students/payment/exemption.html>）をご覧ください。



6. 学生教育研究災害傷害保険・学研災付帯賠償責任保険料は、令和 7 年 3 月 31 日（月）までに納入願います。納入手続の詳細は、合格通知書に同封の関係書類により改めてお知らせします。

※当該保険について

正課中、学校行事中、課外活動中、通学中における傷害事故に対して補償するものです。又、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したりした場合の補償も含まれます。なお、保険料の改定が行われた場合には、改定時から新保険料が適用されます。詳細は、千葉大学ホームページ（https://www.chiba-u.ac.jp/for_school-life/support.html）をご覧ください。

7. 入学手続完了者が 3 月 31 日（月）17 時までに入學を辞退した場合には、申し出により既に納入済の学生教育研究災害傷害保険料を返還します。

8 入学後の履修について

(1) 編入学時に本人の申請に基づき、出身学校で修得した単位の全部あるいは一部が、本学における授業科目の履修により修得した単位として認定されることがあります。（上限 60 単位）

(2) 2 年以上の在学で修得単位数を満たせば卒業することができ、学士（文学）の学位が授与されます。

9 受験に関する注意

(1) 受験に関する注意事項は、10 月 18 日（金）9 時に文学部掲示板に掲示しますので試験当日の集合時間までに必ず確認してください。

(2) 試験当日は必ず受験票を携帯し、係員の指示に従い所定の場所に置いてください。受験票は入学手続の際にも必要ですから、大切に保管してください。

(3) 宿泊場所等の斡旋はできませんので、各自で手配してください。

(4)入学者選抜の過程で収集した個人情報が入学者選抜の実施のほか、管理運営業務、修学指導業務、入学者選抜方法等における調査・研究に関する業務等を行うために利用します。

(5)千葉大学文学部への道順

- ・ J R総武線「西千葉」駅下車，北口から徒歩で文学部棟まで約 10 分です。
- ・ 京成千葉線「みどり台」駅下車，徒歩で文学部棟まで約 10 分です。

(6)その他受験に関する照会は、人社系学務課学部学務室（文学部担当）へ問い合わせてください。

【出願書類提出先・問合せ先】

千葉大学人社系学務課学部学務室（文学部担当）

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1 番 33 号

電話 043-290-3631

コ　ー　ス　案　内

〔行動科学コース〕

行動科学コースは、人間とその行動の多様な側面について、総合的かつ学際的な教育・研究を行うコースです。人間の意識や心の働き、人間の知的機能や人間の持つ生物としての特性、人間が作り上げた社会や文化など、多様な視点から人間の行動にアプローチします。1年次には、少人数制の「人文科学入門」や各専修が用意する共通基礎科目を履修し、分野を超えた幅広い基礎知識を習得します。2年次からは哲学、認知情報科学、心理学、社会学、文化人類学のいずれかの専修に所属し、専門的な教育を受けることになります。

哲学専修では、人間の知識や行為の基礎を明らかにします。また、科学論、応用倫理、言語哲学などの分野にも力点をおいています。認知情報科学専修では、人間や動物の知覚・認知行動や計算機における知識情報処理について、実験的・数理的に研究します。心理学専修では、人間行動の基礎としての認知過程やパーソナリティの解明、そして人間の社会的行動の理解を目指し、実験法、検査法、調査法、および計量的手法の習得に重点をおきます。社会学専修では、現代における家族、地域・都市、産業・労働、コミュニケーション、社会構造を対象とした実証的研究と理論的考察を行います。文化人類学専修では、人類の文化的多様性を手がかりに、家族、共同体、政治、宗教、エスニシティ、性、近代化過程などに関する理解を深めます。

各専修の主な授業科目は以下のとおりです。

哲　学　専　修：現代哲学、倫理学、科学基礎論、科学史、東洋哲学概説など。

認知情報科学専修：認知行動基礎論、言語情報処理論、データ解析基礎論、比較認知論、知的情報処理論など。

心　理　学　専　修：高次認知論、人格心理学、知覚心理学、認知心理学、社会心理学、高次認知論など。

社　会　学　専　修：地域社会学、コミュニケーション社会学、産業社会学、ジェンダーの社会学など。

文化人類学専修：医療人類学、ジェンダーの人類学、生態人類学など。

〔歴史学コース〕

歴史学コースでは、これまで、日本史、東洋史、西洋史という枠組みにとらわれずに、世界史的観点に立って歴史学を研究・教育することを特徴としてきました。また、これに加えて、「もの」「かたち」「文字」という三つの文化伝達要素にそくして、歴史と歴史学を考えるための新しい分野も展開します。「もの」に関係する授業科目としては、文化財学、考古学、美術史、宗教文化史などがあり、人類が作り出した物質や道具を通して歴史を考えます。「かたち」に関係する授業科目としては、文化資料論、図像解釈学、史料学などがあり、人類の歴史を文献のみならず、図像、イメージ、音声、画像などの史料を駆使して考えます。「文字」に関する歴史学についても、日本史、アジア史、ヨーロッパ史、文書学といった旧来の歴史学の分野に加えて、国際社会史、歴史社会学、思想史、文化史、ジェンダー史、マイノリティー史、移動交流史、アフリカ史、イスラーム地域史といった分野・領域を設け、人類の歴史を広く国際的な視野から、また人々の生活や社会的関係の面から考える体制をとっています。学生のみなさんは、人文科学入門という小人数ゼミにおいて高等学校までの歴史の勉強とは違う歴史学の世界に導かれ、史学方法論で新たな歴史学の方法を学び、各種概説を受講し、種々の方法的訓練を受けた後、多様な専門科目を自由に履修することができます。歴史学コースに所属する学生のみなさんは、自己の関心に応じて、さまざまな地域的歴史を、多彩な文化伝達要素にそくして研究することができます。また、博物館・美術館の学芸員、文書館のアーキビストなどの養成にも努めています。

〔日本・ユーラシア文化コース〕

日本・ユーラシア文化コースは、日本の言語・文学・思想・民俗・芸能などの諸文化を、多面的な視野から深く掘り下げて考察していくとともに、ユーラシア諸地域の、特に日本に近接する地域に居住する諸民族の言語文化を考えることによって、世界における日本文化を相対的により深く研究し、把握することを基本理念としています。

本コースは、日本言語文化論、ユーラシア言語文化論の2つの専修によって構成されていますが、学生は、いずれか1つの専修に所属するのではなく、すべての分野の授業を横断的に履修することによって複眼的な視野を養い、日本およびユーラシア諸地域の文化を総体として把握する方法を学びます。

卒業論文は必修で、それぞれの学生がもっとも興味を持っている分野について、徹底的に調査し、考えぬいて論文を作成します。そうした学生の研究をバックアップするために、3年次後期には日本・ユーラシア文化論研究演習、4年次には卒業論文特別演習が設置されているほか、おもに2、3年次の学生を対象とした、さまざまな演習科目を受講することで、自ら調べ考えるという訓練を行っています。受け身で勉強しようという学生には向かないコースだといえるかもしれません。もちろん、講義科目も充実しており、それぞれの教員の専門分野の講義を受けることで、最先端の知識を得ることもできます。

また、日本・ユーラシア文化コースの専門科目だけではなく、他コース（行動科学・歴史学・国際言語文化学）の講義や演習を履修することも奨励しています。学生に視野を広げてほしいと考えているからです。

〔国際言語文化学コース〕

国際言語文化学コースは、国際化と多様化の時代に対応して、文化の国際的関連性や、言語・文学・文化の多様なあり方や構造について、幅広い研究・教育を行います。本コースにおいては、外国語教育が重視されます。そして、学生はその関心に応じて、次の4種の専修、すなわち「言語構造」（言語理論、言語コミュニケーション論、歴史言語学）、「英語圏文化」（英語圏文化論、イギリス文化論、アメリカ文化論）、「ヨーロッパ文化」（フランス文化論、ドイツ文化論、スペイン文化論、ロシア文化論）、「超域文化」（文学理論、表象文化論、古典学、比較文化、比較文学）の中から自由に選択して研究できるようになっています。

「言語構造」専修は、言語理論・言語コミュニケーション論・歴史言語学に関する研究をします。

「英語圏文化」専修は、イギリス・アメリカを中心とする英語圏を巡る文化に焦点をあてながら、広い視野に立って研究します。

「ヨーロッパ文化」専修は、フランス・ドイツ・スペイン・ロシア語圏を巡る文化に焦点をあてながら、広い視野に立って研究します。

「超域文化」専修は、諸種の文化的営為を超国家的な視点あるいは国際的な比較の観点から考察します。学問領域を横断する学際的な研究も行います。

本コースの学問領域と開講される授業科目は、大きなバラエティーがあり、多様な学習が可能となるよう工夫されていますが、本コースでは、学生が自主的な選択によって国際社会での活躍のために必要な知識と語学力を身につけることを重視しています。